

**第5次かつらぎ町長期総合計画策定に係る
関係団体ヒアリング
結果報告書**

**令和5年8月
かつらぎ町**

目 次

1. 実施目的.....	1
2. 調査概要.....	1
3. 調査手法.....	1
4. ヒアリング結果.....	2

1. 実施目的

第5次かつらぎ町長期総合計画の策定にあたって基礎資料を得るため、各種関係団体の視点からまちづくりにおける分野ごとの意見を把握することを目的としました。

2. 調査概要

◇調査期間：令和5年6月27日（火）～7月20日（木）

項目	
配布団体数	20件
回収数	9件（13件）
回収率	45.0%

※1団体につき4件の意見提出があった団体もありますが、1団体の意見としてまとめました。

3. 調査手法

実施にあたっては、調査票の郵送配布・郵送回収により、質問票に記載のある任意のテーマを選択いただくとともに、その他質問への回答による意向調査としました。

4. ヒアリング結果

(1) かつらぎ町医師会

1. かつらぎ町の課題について	
テーマ	安全で安心して暮らせるまちづくり（保健・医療、高齢者支援・障がい者支援・子育て支援・福祉・地域コミュニティなど）
内容	<p>高齢者の運転免許証返納に関して、若い人達からは当然のように返納は必然などの意見がある。しかし、必然とは必ずそうなるという意味であり、返納ありきの考えでもある。かつらぎ町も交通の面は良くなったとはいえ、毎日の買い物に事欠く人たちも多くいる。</p> <p>特に高齢独居の方々に何かできうることはないのか。コミュニティバスの利用などはよく聞く案であるが、停留所の配置が少ない場合、歩行距離が長くなり結局は利用不可となる。僻地では停留所以外での乗り降りも可能と聞くが、なぜ僻地のみなのか。もう少しその範囲を増やせば良いが、法律上の縛りがあればなんともできない。</p> <p>医療・買い物ほか外出難民にもならず、健康でしっかり食事ができる体制づくりは難しいのか。オンライン受診などと最近よく聞くが、年配の方全てそれが可能かと言われれば難しいと思う。</p> <p>新車の標準装備になるまで非常ブレーキ装着に補助を付け、万が一の事故を防ぐ事で年齢（例えば80歳から90歳）弱者の社会活動参加を後押ししたい。そのみでは事故を防げない事はいわずもがなであるが。</p>
2. かつらぎ町の今後の取り組みについて	<p>僻地診療の事、天野診療所の開所日は現在2週間に一度（木曜日午後2時間）。利用者は平均3名で10年前に比べて激減している。補助金で何とか開催しているが、利用者がゼロになれば必然的に閉鎖となる。</p> <p>一度閉鎖となれば再開には時間がかかり、難しくなると思う。現在、天野地区にお住まいの方で病院・クリニック受診され、薬だけでも天野診療所で貰う（もちろん診察は必要です）ことができれば受診者も少し増加するのではないか。</p>
3. かつらぎ町のまちづくりについて（提言）	<p>鍋谷トンネル通過1時間程度の交通圏地域から、町内への移動を加味した施設の建設、例えば大規模商業施設の誘致。くしがきの里近辺・24号線界限など。交通弱者への真摯な取組。免許返納ありきではなく資金的問題もあるが、ある程度の年齢までは自分の意志で行動のできる元気な高齢者への取組。</p> <p>アクセル踏み間違い防止装置装着など、できる限り補助金を出し、元気な高齢者の外出を後押しできる制度を目指してほしい。</p>

(2) かつらぎ町自治区長会

1. かつらぎ町の課題について	
テーマ	信頼される役所づくり（行政運営、行財政、情報公開）
内容	町職員の人事異動が多すぎる。 町民との信頼関係を作るには少なくとも2、3年はかかる。町職員を信頼してじっくり育てて欲しい。そして町民から信頼されるかつらぎ町になって欲しい。
2. かつらぎ町の今後の取り組みについて	—
3. かつらぎ町のまちづくりについて（提言）	かつらぎ町西部地区は西部公園パークゴルフ場がある。きれいに整備され年配者から子供まで楽しめる。また、国道480号のトンネル開通により、大変便利になった。大型商業施設の計画もあり楽しみである。 しかし東部地区（中飯降、妙寺）は昔とほとんど変わらない。妙寺駅周辺は目をそむけたくなる。かつらぎ平和公園があるが、夏まつり花火大会の時などは、駐車場が足りない。北側には広い柿畑がある。ここを買い取り駐車場にしたらいいと思う。そして平和公園に多くの子ども連れが遊びに来れるようにしてほしい。

(3) かつらぎ町消防団

1. かつらぎ町の課題について	
テーマ	安全で安心して暮らせるまちづくり（保健・医療、高齢者支援・障がい者支援・子育て支援・福祉・地域コミュニティなど）
内容	消防団員の不足、昼に地元に団員が少ない。 町外へ働きに出ている。定年の引き上げ（2～3年）。
2. かつらぎ町の今後の取り組みについて	「フルーツの町かつらぎ町」とPRしており、「御所ぶどう」がブランド化されているが、他の果実においてはブランド化がされていない「桃」はあら川の桃に負けないおいしさがある。「紀ノ川柿」「平核無柿(刀根早生)」「富有柿」「柑橘類」どれをとっても他所に負けない味がある。町をあげてのブランド化に取り組んでほしい。
3. かつらぎ町のまちづくりについて（提言）	—

(4) かつらぎ町民生児童委員協議会

1. かつらぎ町の課題について	
テーマ	地域の特性を生かした活力あるまちづくり（農林業、商工業、観光・サービス業、移住・定住施策、雇用・就業）
内容	<p>かつらぎ町は主に、地域商業の衰退や高度成長より、大都市への人口の流出が続き、最近では高齢化が進む中でさらに人口減少が継続している。</p> <p>これは日本国中共通した現象であり、最近ではさらに大都市圏への一極集中が加速している。</p> <p>ただ、かつらぎ町は最近、交通インフラや世界遺産、フルーツの町のイメージづくりなどで、若い人を中心とした人口流入が相次ぎ、また4歳児以下の人口も増加している。この傾向をさらに推し進める施策を打って一転、人口増に繋げることが肝心。</p> <p>そのためには安定した雇用の確保、住みやすさを実感できるまちづくりが不可欠である。</p>
2. かつらぎ町の今後の取り組みについて	<p>現在世界的にグローバル化を推し進める動きが強くなり、その中で国・地域や家族の繋がりを軽視する傾向が見られる。その証拠に、かつらぎ町に新しく転入された若い方にも地域との繋がりを煩わしく感じている方が多いように見受けられる。かつらぎ町には昔から地域コミュニティを形づくる最大のもので「祭り」があった。現在は人口減少と高齢化、また最近のコロナ禍によりかなり衰退している。「祭り」は地域の歴史や伝統に触れながら住民が一丸となって行えるイベントであり、また同時にこれを実施するための地域組織づくりも重要である。</p> <p>現在行われている「かつらぎ夏祭り」のように花火がメインのものも大切だが、それぞれの地域の伝統にのっとった祭りを掘り起こし、地域の繋がりを強めていくことが大事だと思う。</p>
3. かつらぎ町のまちづくりについて（提言）	<p>民生児童委員協議会の総会の最後で歌われる「この街で」という歌がある。内容はこの街で生まれ、育ち、結婚して子育てをし、老いて人生を終えたい、というもの。</p> <p>一昔前は当たり前のことだったが、高度成長期からは一般的ではなくなった。最近ではもっとひどく、こんな街は存在すらできなくなった。</p> <p>この街で生まれた人も、途中からこの街に来た人も、最後は老いてこの街で人生を終えることができるにはどうすればいいか、皆で考えたいと思う。</p>

(5) JMT 大作戦実行委員会

1. かつらぎ町の課題について	
テーマ	みんなでつくる協働のまちづくり（協働によるまちづくり）
内容	<p>行政と町民、民間団体がお互いの持っている得意分野を發揮し合うところに、協働によるまちづくりは成り立つと思う。</p> <p>町民、民間団体が行政に全て任せたり、やってもらうのを待つのではなく、また反対に、行政が町民・民間団体に丸投げするのでもなく、お互いができる事やサポートし合える関係を目指してほしいと思う。</p> <p>お互いにもっと信頼関係を築きながら、大好きなかつらぎ町をどうしたらもっと元気にする事ができるか、もっと輝かせる事ができるか、また、もっと住みやすい町にできるかを、一緒に同じゴールを目指して取り組めると、もっと協働のまちづくりは楽しくなるような気がする。</p>
2. かつらぎ町の今後の取り組みについて	<p>行政と民間とが一緒に、もっといろいろな取組をするべきだと思う。民間と行政の仕事に対する考え方や、取り組み方のギャップは大変大きい時がよくある。</p> <p>行政の仕事が楽だといっている訳では決してない。しかし民間はもっと厳しい現状で働いている人は少ない。ともに理解の和を広げ、認識を広げる事はとても大切だと思う。</p>
3. かつらぎ町のまちづくりについて（提言）	<p>かつらぎ町のために一生懸命頑張って活動している民間団体に、もっと支援の手を差し延べてほしい。</p> <p>活動を継続するための資金や活動の拠点もなく、いま頑張れているのは、自分たちのモチベーションのみ。そのモチベーションが低下もしくは、なくなった時、今まで積み重ねてきた全てが失われてしまう。</p> <p>「人材は宝。」民間の一ボランティア団体にでもできる活動はたくさんある。どうぞ、大切に扱っていただきたい。</p>

(6) かつらぎ町農業委員会

1. かつらぎ町の課題について	
テーマ	地域の特性を生かした活力あるまちづくり（農林業、商工業、観光・サービス業、移住・定住施策、雇用・就業）
内容	<p>高齢化が進み、農業従事者が減少しているなか、若い世代の人口減少や農業離れなどにより、ますます農業後継者が不足している。今後、いかにして農業従事者を増やしていくかが課題。</p> <p>作業効率の良い農地が少ない。</p> <p>フルーツ王国かつらぎ町の活性化のためには、若手の農家が増えて放任地が少しでも利用されて、くだものの生産が増えてくれる事が、フルーツ王国かつらぎ町を守っていく事だと思う。そのために若手農家、Iターン、Uターン農家に補助金を出したり、農機具を貸し出したりする事が大切だと思う。</p>
2. かつらぎ町の今後の取り組みについて	<p>現在の農家は、自分の子どもには農家を継がせたくない、そんな農家が多いと思う。それは農業経営が安定していないことや、労働に見合った収入が得られないことなどが考えられるため、労働に見合った収入の確保、安定した農業経営、遊休農地の活用、生産品のブランド化、輸入に頼らず地産地消を目指すなどの取組が必要。</p> <p>農地の状況を判断し、どんな作物ができるかなど、活用できるよう労力を惜しまず働くこと。</p> <p>町とJAが一緒になり、若者が夢を持てる農政を行うべき。ビジネスモデルをつくり、こういう経営をすればこれくらい稼げると示さなければ就農してもらえない。サラリーマンなら月収・年収がいくらとメドがつくが、新規就農の場合メドが立たない。本人が手探りするしかない。収入の話が一番大事。町をあげて若手農家を増やす政策に少しでも取り組んでほしい。農家の減少を食い止める事が、フルーツ王国かつらぎ町の活性につながると思う。</p>
3. かつらぎ町のまちづくりについて（提言）	<p>作業効率のよい農地への整備を進める。</p> <p>お金を持ってる企業からうまくお金を引き出すことを考えてもらいたい。例えば、夕張市はツムラと協力して漢方薬栽培に取り組んだ。企業やいろんな組織を巻き込み、いろんなアイデアやお金を活用し、地域の活性化を考えてもらいたい。農業であれば、担い手不足で困っているのはJAも同じ。利害は一致する。</p>

(7) かつらぎ町商工会女性部

1. かつらぎ町の課題について	
テーマ	安全で安心して暮らせるまちづくり（保健・医療、高齢者支援・障がい者支援・子育て支援・福祉・地域コミュニティなど）
内 容	<p>かつらぎ町は住みやすい町として有名である。大きな川の氾濫や大きな山崩れ等はなく、危機感も町全体で薄れているように思う。地震もいつ起こるか分からない折、防災意識も無いと思う。何か起きてからでは遅く、たとえ年一回でも避難訓練等、各地域の小さな集まりでも、実施しておくの良いと思う。</p> <p>例えば、各公民館等でおにぎりを作る日とか練習しておかないと、いざという時は間に合わない。地域のコミュニケーションも取れ、今まで人と人との関わりが少なくなって来ている今、行事をすることでまた、人の心のやさしさとか、いたわりとか、思いやりのある心を育むことができればいいと思う。</p>
2. かつらぎ町の今後の取り組みについて	<p>フルーツの町 かつらぎ町</p> <p>生産者が高齢になり、これから先、若い人達があとを継いでくれると良いがなかなかうまくいかない様子。そうなる若くは若い人の力でフルーツづくりを続けていかないと、畑も、木も手入れができなくなる。若い人の力は重要で、生産してくれる人の手である。移住して、あとを継いでくれる人、働き手が必要。</p> <p>かつらぎ町に住んでくれる若い人が暮らしやすくするようにしなければならない。まずは、住宅でフルーツづくりを体験できる募集など、考えて行ってはどうか。</p>
3. かつらぎ町のまちづくりについて（提言）	<p>かつらぎ町全体で行事をすることを願います。</p> <p>今までの行事、産業祭りなど、今年の夏まつりは楽しみにしている。</p> <p>町全体で盛り上げたいと思う。</p>

(8) 女性問題アドバイザーOG会

1. かつらぎ町の課題について	
テーマ	安全で安心して暮らせるまちづくり（保健・医療、高齢者支援・障がい者支援・子育て支援・福祉・地域コミュニティなど）
内容	かつらぎ町も少子高齢化が進んでいる。個々の住民生活は良くなっていると思うが、コロナ禍や個人情報に厳しく左右されて、一見みえないが格差が広がっている感じがする。 町のいきいきサロン活動に協力しているが、高齢者の社会参加について難しい点がある。
2. かつらぎ町の今後の取り組みについて	高齢者が住み慣れた家庭や地域で、自立した生活を送ることができるまちづくり。健康、医療、介護、住まい等、個々の責任において生活していく事が大事だが、住民同士の支え合いに加えて、体の不自由な人、病んだ人でもより住みやすい、生活しやすい地域づくりを町としても手助けしてほしい。
3. かつらぎ町のまちづくりについて（提言）	—

(9) かつらぎ町老人クラブ連合会女性部

1. かつらぎ町の課題について	
テーマ	豊かな自然と歴史・文化のまちづくり（自然環境保全、循環型社会、土地利用、生活環境、歴史・文化） 安全で安心して暮らせるまちづくり（保健・医療、高齢者支援、障害者支援、子育て支援、地域福祉、社会保障、地域コミュニティ、防災、消防・交通・防犯、上下水道・し尿処理、消費者保護、人権尊重社会） 豊かな人間性を育むまちづくり（学校教育、青少年健全育成、生涯学習、スポーツ・レクリエーション、男女共同参画、人権啓発、交流（地域間交流・国際交流）） 信頼される役所づくり（行政運営、行財政、情報公開）
内容	かつらぎ町はとても風光明媚な土地。昔から人間的にも前向きであり、町史にもあるように検察所、裁判所と大きな役所を地元を持って来る人物の多い土地柄であると思う。その中で、学校教育もしっかりと力を入れて、子ども達がそれぞれの立場で人間として立派に一人立ちできる教育をしてほしい。
2. かつらぎ町の今後の取り組みについて	本町は同和問題が解決していない、他の町村よりも遅れているように思う。特に結婚問題がそうである。本年は町長選挙があるが、町長様にお願いしたいことは、4年で部落問題に取り組んでほしいということ。
3. かつらぎ町のまちづくりについて（提言）	観光にも、もう少し力を入れてほしい。かつらぎ公園には平和を祈る地蔵さんがそびえている。世界45ヶ国の平和を願う石が収まっているが、その事を外に向けて発信していくことがとても大切であると思う。

第5次かつらぎ町長期総合計画策定に係る
関係団体ヒアリング
結果報告書

発行: かつらぎ町役場 企画公室 政策調整係

TEL: 0736-22-0300

FAX: 0736-22-6432

発行年月: 令和5年8月